

市場で高まるロシアとウクライナへの懸念



シニア・ストラテジスト 石黒英之

ポイント① ウクライナ情勢緊迫化で欧州株安

ロシアとウクライナを巡る緊張の高まりを背景に、24日の欧州株は全面安の展開となりました。欧州株全体の値動きを示すストックス欧州600は前営業日比3.8%安となり、約1年3ヵ月ぶりに、長期的な下値の節目とみられる200日移動平均線を割り込んだほか、ロシアをはじめ、その他欧州主要国の下げも目立ちました。欧州のボラティリティ・インデックスも急上昇しており、投資家のリスク回避姿勢が強まっていることがわかります（右上図）。

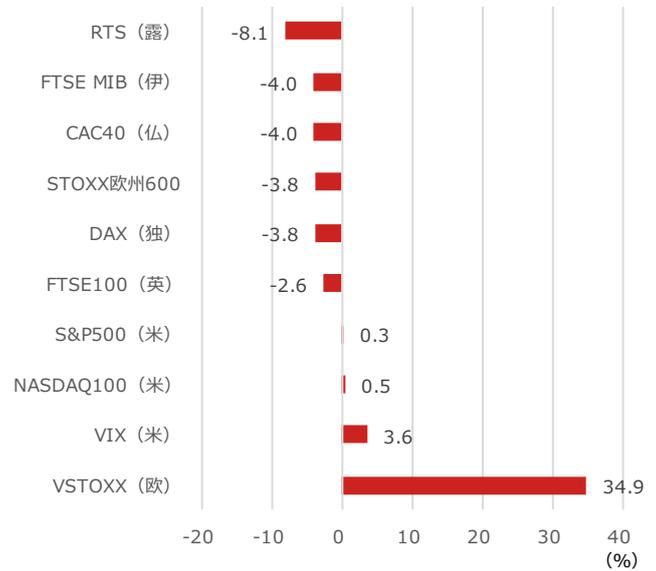
24日にNATO（北大西洋条約機構）が東欧地域への増派を発表したことや、米国と英国がウクライナの首都キエフから大使館員の一部や家族を国外に退避させる計画が伝わったことが、ロシアとの軍事衝突リスクの高まりにつながったと考えられます。

ポイント② EUはロシアに天然ガスを依存

今後の軍事衝突に備え、米欧はロシアに対する経済制裁の準備を加速させているとの報道もあり、天然ガスで世界2位、原油で3位の生産量を誇るロシアの資源分野に制裁がかかると、世界経済にも悪影響が出るとみられます。こうした懸念から24日の欧州の主要商品市場で、天然ガス先物は一時前営業日比20%高と急騰しました。EU（欧州連合）諸国はロシアからの天然ガス輸入依存度が高く（右下図）、当面は天然ガスの供給不安から、経済や企業活動が減速することへの懸念が意識されます。

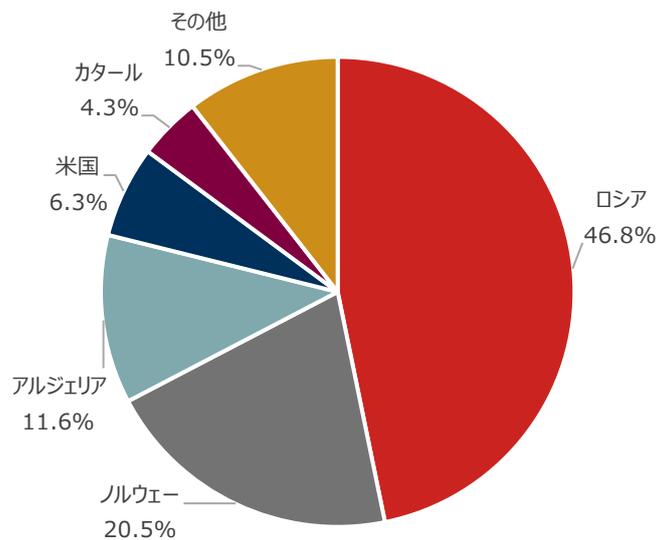
ウクライナ情勢は予断を許すべきではありませんが、24日の米国株市場では、一時1,100米ドル超下げる場面もあったダウ工業株30種平均が、取引終了にかけて買い戻されプラス圏で終えるなど悲観一辺倒でもありません。長期的な視点に立って冷静に市場と向き合っていくことが重要と考えます。

各主要指数の前営業日比騰落率（1月24日）



・VIX、VSTOXXは市場の変動率を示す指数（ボラティリティ・インデックス、別名恐怖指数）
 ・その他の指数は主要株価指数、現地通貨ベース（ただしRTS指数は米ドルベース）
 （出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

EUの国別天然ガス輸入依存度（2021年前期）



（出所）EU統計局より野村アセットマネジメント作成

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。